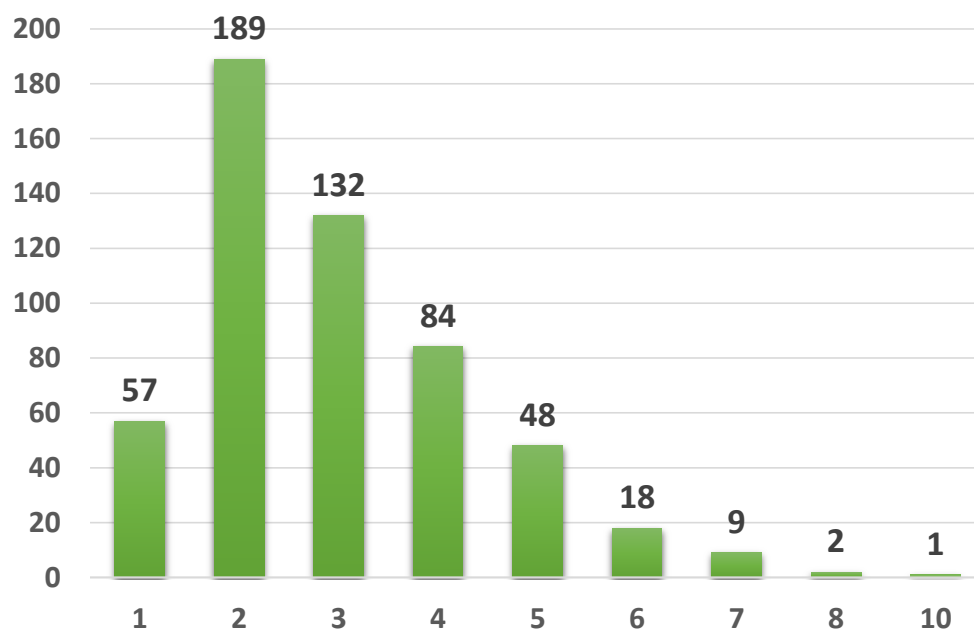
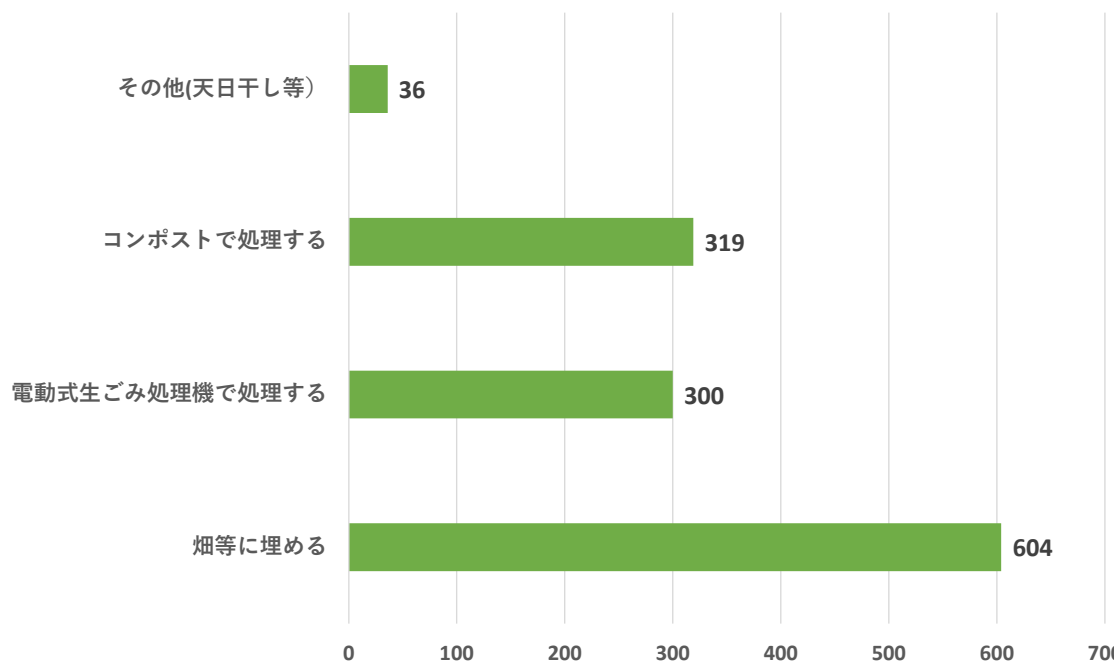


生ごみ出しません袋 配布世帯へのアンケート結果

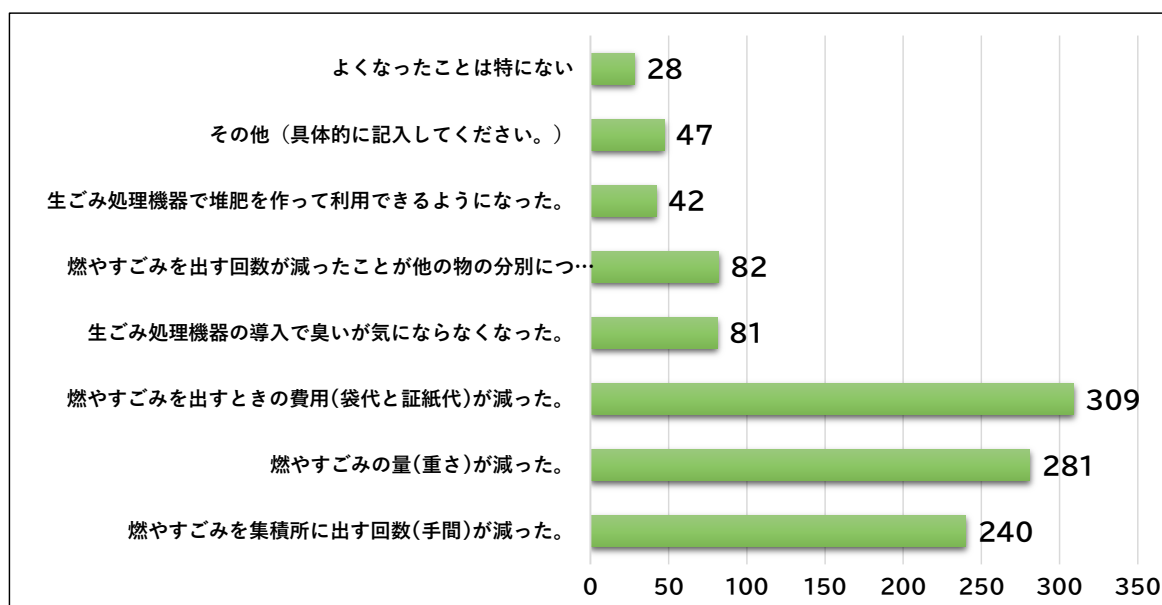
1. ご世帯の人数は何人ですか。



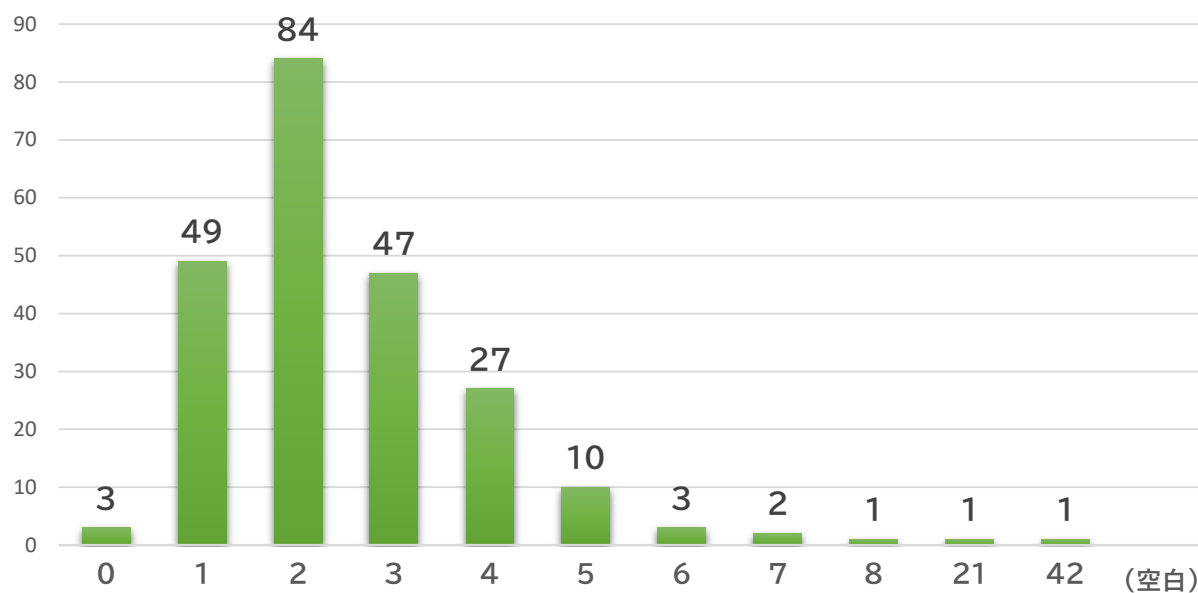
2. どのような方法で生ごみを減らしていますか。



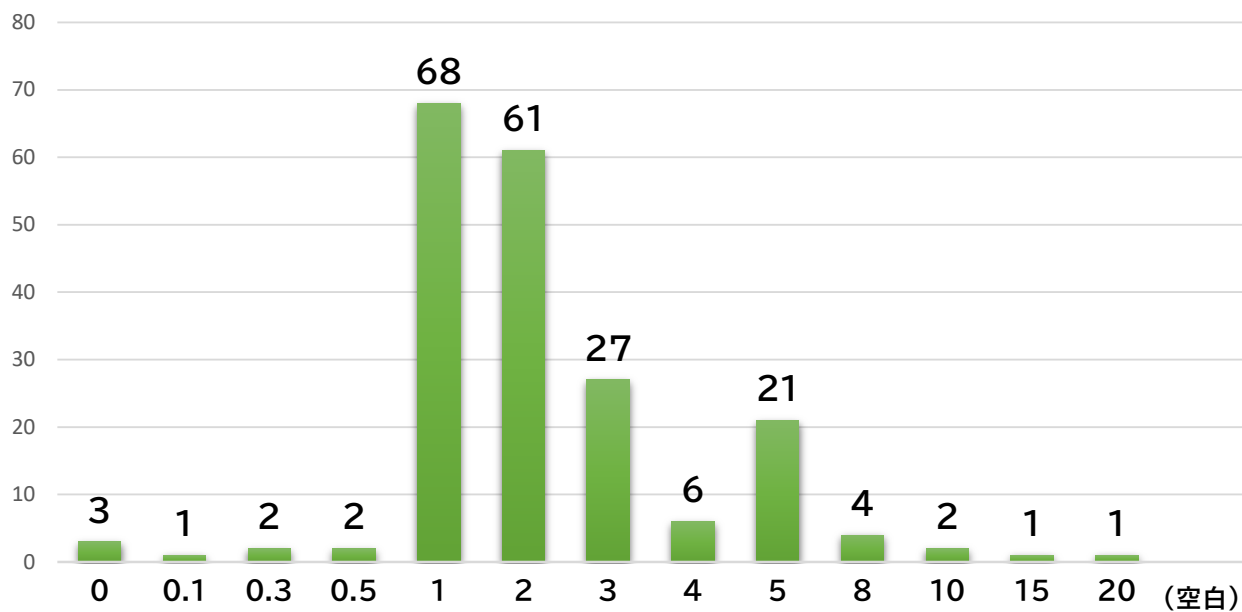
3. 生ごみを出さないようにしてよかったことは何ですか。



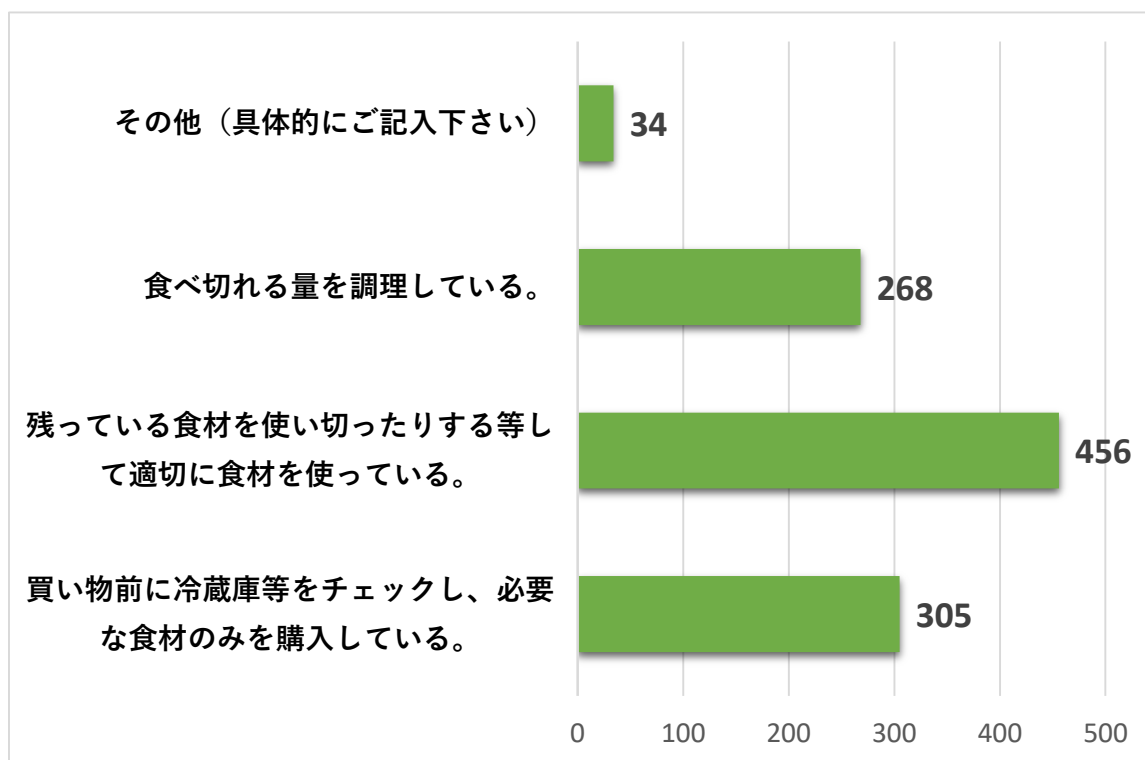
4. 集積所に生ごみを出さないようにしてから、集積所にごみを出す回数はどのくらい減りましたか。



5. 集積所に生ごみを出さないようにしてから、1回当たりの燃やすごみの量(kg)はどのくらい減りましたか。



6. 食品ロス削減のために取り組んだことは何ですか。



7. 生ごみを減らすために工夫したことを教えてください。(主な回答)

- ・生ごみ処理機を購入し、相当量の生ごみが減った。
- ・コンポストを利用している。
- ・生ごみの堆肥化(畑に撒いて肥料にしている。)
- ・冷蔵庫を整理して、食材の使い忘れを減らした。(早めに使うようにした)
- ・無駄な食材の買いはしない。食材は捨てない。
- ・野菜や果物はできる限り皮ごと食べる。
- ・野菜の芯や皮も調理して、食べる。
- ・食べ残しがでないように調理する。(細かくしたり、工夫して全て使うようにしている)
- ・みかんの皮でフライパンを洗った。
- ・2人暮らしなので一玉とか一本丸々買わず半分カットの物を買っている。
- ・いただいた食べ物で溢れる場合もある。食べきれない量ならば、近所におすそ分けしたり、寄付することに努めた。
- ・食材が残ったら、次の日にアレンジして料理する。
- ・生ごみとなった野菜の皮等をぬらさない。
- ・えのきやしめじはカットされている物を購入している。
- ・調理方法の工夫を実施・冷蔵庫、冷凍庫の活用。(加工して冷凍し、使い切る)
- ・ティーバッグは天日に干してから捨てる。
- ・フードドライブを利用した。

8. アンケートの結果より

- ・生ごみ処理の方法については、畑に埋める方法が最も多く、次いでコンポストや生ごみ処理機での処理が多かったです。コンポストの使用は畑に埋める方法とも連動していると考えられます。
- ・袋が使用できるようになって、よくなったことについては、ごみ排出時に袋代と証紙代が減ったという回答が最も多く、次いで、燃やすごみの量や重さが減った、集積所に出す回数や手間が減った、という回答が多かったです。
- ・食品ロス削減に関する取組では、「残っている食材を使い切ったりする等して適切に食材を使っている」が最も多く、次いで、「買い物前に冷蔵庫等をチェックし、必要な食材を購入している」「食べ切れる量を調理している」が多かったです。
- ・生ごみを出さないための工夫については、食品ロス削減に取り組む様々な工夫に取り組んでもらえている中で、特に食材を皮ごと食べる、といった回答が多かったです。